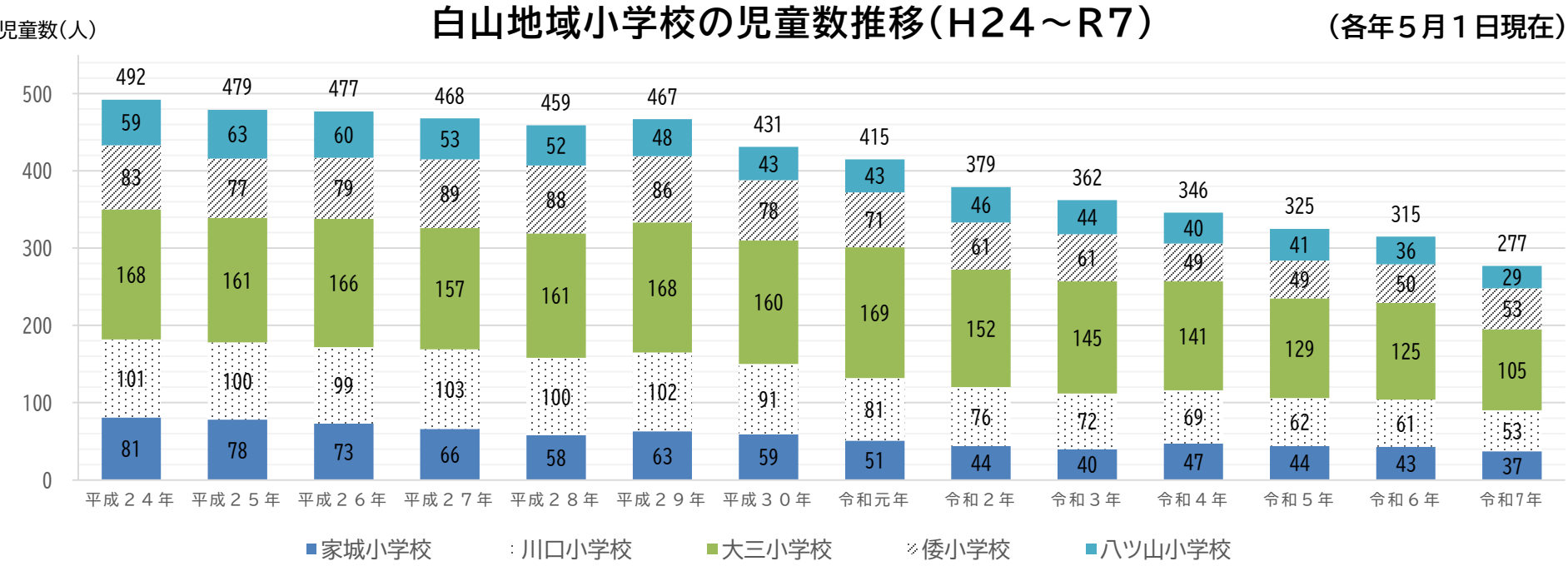


白山地域小学校の今後の在り方に係る 住民説明会

令和7年7月21日

1-1 白山地域の現状(児童数の状況)



令和7年度 白山地域小学校の児童数 (令和7年5月1日現在)

(人・学級)

年度／学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	児童数計	普通学級数	特別支援学級数	学級数計
家城小学校	3	7	5	11	5	6	37	4	1	5
川口小学校	7	9	10	4	10	13	53	4	1	5
大三小学校	14	16	19	24	19	13	105	6	2	8
倭小学校	12	11	7	6	13	4	53	4	2	6
ハツ山小学校	3	0	7	7	7	5	29	3	1	4
合計	39	43	48	52	54	41	277	21	7	28

1-2 白山地域の現状(学校施設の状況)

既存学校施設（小学校5校、中学校1校）の状況

学校名	校舎建築年月 (経過年数)	構造	階数	校舎延床面積 (㎡)	教室数	運動場面積 (㎡)
家城小学校	昭和51年3月 (49年)	鉄筋コンクリート造	3階建	3,208	8	5,566
川口小学校	昭和54年2月 (46年)	鉄筋コンクリート造	2階建	3,280	12	9,712
大三小学校	昭和57年8月 (42年)	鉄筋コンクリート造	3階建	3,098	12	6,991
倭小学校	平成2年3月 (35年)	鉄筋コンクリート造	2階建	2,833	7	9,616
ハツ山小学校	昭和61年3月 (39年)	鉄筋コンクリート造	2階建	2,784	8	9,886
白山中学校	昭和37年3月 (63年)	鉄筋コンクリート造	3階建	4,301	13	23,809

1-3 白山地域の状況(放課後児童クラブ)

クラブ名	設立年	設置場所	専用区画(m ²)	利用児童数(人) (R7.4現在)
家城地区放課後児童会 いえキッズくらぶ	平成16年	家城小学校校舎内	58.77	14
川口放課後児童クラブ かわぐちの学童	平成28年	川口小学校校舎内	44.33	32
大三放課後児童クラブ WAIWAIくらぶ	平成12年	大三小学校内 (旧幼稚園舎)	154.50	39
倭放課後児童クラブ みんなの倭	平成22年	倭小学校内 (旧幼稚園舎)	192.24	34

※いずれも公設民営



家城地区放課後児童会
いえキッズくらぶ



川口放課後児童クラブ
かわぐちの学童



大三放課後児童クラブ
WAIWAIくらぶ



倭放課後児童クラブ
みんなの倭

2-1 これまでの経過①

令和6年2月14日

「白山の教育を考える会」より白山町内小学校の統合を視野に入れたあり方に関する要望書が市へ提出される



令和6年2月14日

津市教育長様

白山の教育を考える会

会長 宮路 千行

白山町内小学校の統合を視野に入れたあり方に関する要望書

平素は白山町小中学校の教育につきまして、ご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、白山町内小学校の児童数が年々減少し、複式学級も増加しております。

この現状を、保護者はもとより、地域住民も深刻に受け止め、市長との地域懇談会の場で質問をしたり、保護者が県教育委員会に質問状を出したりする等の動きが出てまいりました。

また、これから小学校に入学する白山こども園の保護者にも心配や不安が広がってきています。

そのような中、津市教育委員会の方から、今後の白山町内児童数の推移についての資料を、各小学校、白山こども園、各地区自治協議会長等に提示し、説明をしていただきました。

その時、自治協議会長さん方よりこれからのことを考えると、このままの小学校でよいのかという意見が出されました。討議の結果、保護者及び地域住民の思いや考えを聞こうということで、「白山の教育を考える会」という組織を、令和4年8月18日に

新たに立ち上げました。

その後、当会主催の「白山町内小学校のあり方を考える会」を、保護者の代表を主な対象として2回開催しました。

また、統合を体験した方の話を聞かせてほしいとの保護者の要望を受けて、パネルディスカッションを実施しました。パネル討議の後、アンケート用紙を配布しました。

これらの取り組みを通して、これからの小学校のあり方について、関心を持つ人が確実に増加していることを実感しております。

これまでに出示された意見や、アンケート用紙に記載された内容からは、何らかの形で統合を希望されている人が多くおられました。

今後は津市教育委員会が中心となっていただき、さらに広く地域住民の意見を聴取してくださることを願っています。そして、できるだけ早く白山町内小学校の将来の姿を決定し、その対応を講じていただきたく本要望書を提出いたします。

よろしくご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年8月18日「白山の教育を考える会」を立ち上げ

(白山地域の教育関係者、自治会関係者等)以後、17回会議等を開催

令和5年3月15日・7月31日「白山町内小学校のあり方考える会」を開催

P T A代表と意見交換

令和5年12月17日 白山地域の住民や保護者を対象に「白山町内小学校のあり方考えるパネルディスカッション」を開催

⇒小学校の在り方や統合に関心を持つ方が確実に増加していることも踏まえて、「今後は教育委員会が中心となり、できるだけ早急に白山地域の小学校の将来の姿を決定し、統合も視野に入れた対応を講じてほしい。」と要望書を提出

2-2 これまでの経過②

令和6年4月15日 「白山地域小学校の在り方検討委員会」の設置

(構成員) 各地区自治会代表者、各小中学校・こども園保護者代表者、放課後児童クラブ保護者等代表者、各小中学校長、こども園長、有識者、白山総合支所長、教育委員会事務局代表者 計29人

令和6年5月16日 「第1回白山地域小学校の在り方検討委員会」開催

白山地域の小学校の状況等について説明し、今後のスケジュールを確認

令和6年10月7日 「第2回白山地域小学校の在り方検討委員会」開催

各小中学校・こども園からの報告を受け、統合に向けて進めていくことを確認

令和6年10月7日、令和6年11月19日、令和7年1月14日 代表者会議開催

※安全性を最優先に川口小学校と大三小学校の2校を候補地案として検討

令和7年1月23日 「第3回白山地域小学校の在り方検討委員会」開催

安全性を最優先に川口小学校と大三小学校を候補地案として検討
各組織に持ち帰って、学校の候補地案について意向確認等

令和7年2月16日 白山地域小学校の統合に係る候補地案の現地視察

川口小学校と大三小学校を現地視察
現地視察後、意見交換を実施



現地視察の様子

2-3 これまでの経過③

令和7年3月17日「第4回白山地域小学校の在り方検討委員会」開催

各小中学校・こども園・自治会等から、候補地案（川口小学校・大三小学校）や整備方法（大規模改造・新築）について出された意見を報告
様々な意見を受け、代表者会議で継続協議

令和7年4月17日 代表者会議開催

※川口小学校の場所が浸水想定区域であることが判明

令和7年5月9日 「第5回白山地域小学校の在り方検討委員会」開催

雲出川流域の中小河川のハザードマップの作成・配布（令和7年5月1日）により、川口小学校が洪水想定区域であることが周知された

これまで安全性を最優先に議論を進めてきた経緯や、代表者会議での意見等も踏まえ、

候補地案：大三小学校

整備方法案：大規模改造、最短で令和11年度開校をめざすことを説明
⇒次回の検討委員会までに、提案内容を周知していただくように依頼



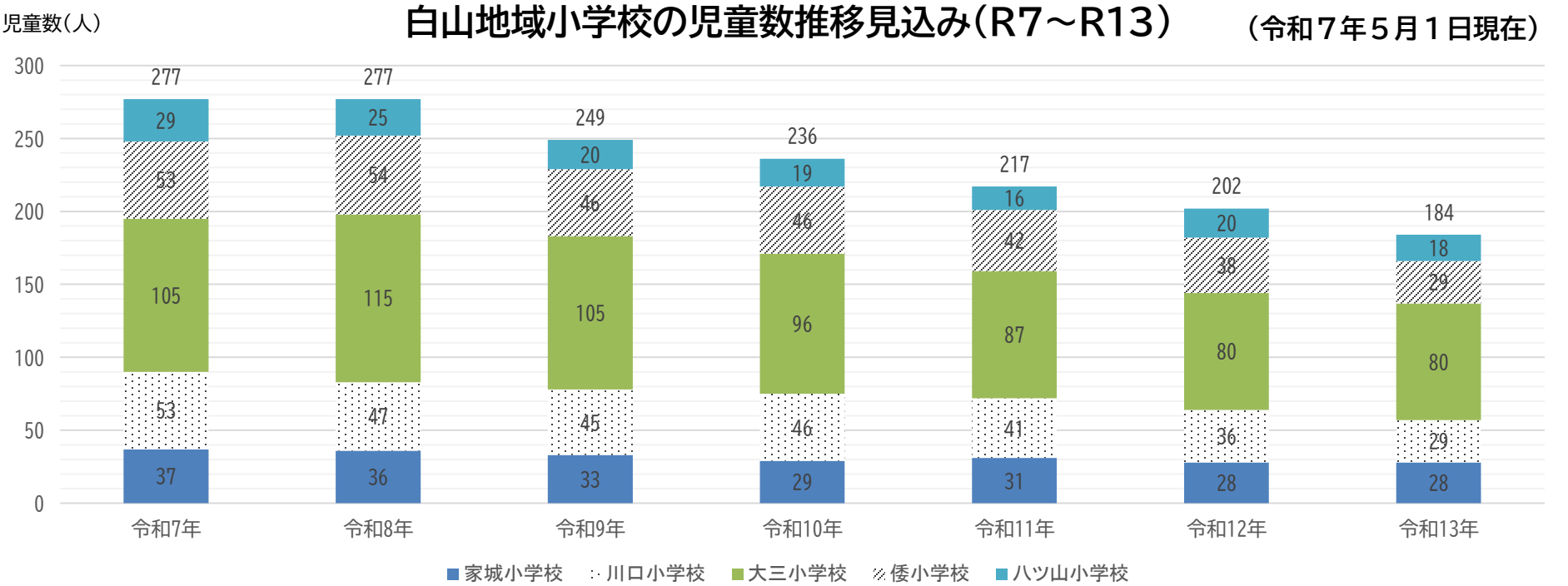
令和7年6月3日 代表者会議開催

令和7年6月20日 「第6回白山地域小学校の在り方検討委員会」開催

これまで安全性を最優先に議論を進めてきた経緯や、代表者会議での意見等も踏まえ、

場所：大三小学校、整備方法：大規模改造、最短で令和11年度開校をめざす方向性について、検討委員会で確認

3-1 課題(児童数の減少)



令和11年度 白山地域小学校の児童数見込み (人・学級)

年度／学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	児童数計	普通学級数	特別支援学級数	学級数計
家城小学校	7	7	2	5	3	7	31	4	0	4
川口小学校	5	5	8	7	7	9	41	4	1	5
大三小学校	10	15	9	23	14	16	87	6	2	8
倭小学校	3	6	5	5	12	11	42	4	2	6
ハツ山小学校	4	6	2	1	3	0	16	3	0	3
合計	29	39	26	41	39	43	217	21	5	26
統合後学級数	1	2	1	2	2	2	—	10	3	13

3-2 課題(候補地の選定)

小学校の統合に向け、設置場所の選定が必要

新たな土地の確保には、かなりの時間を要する（適した公共用地はない）

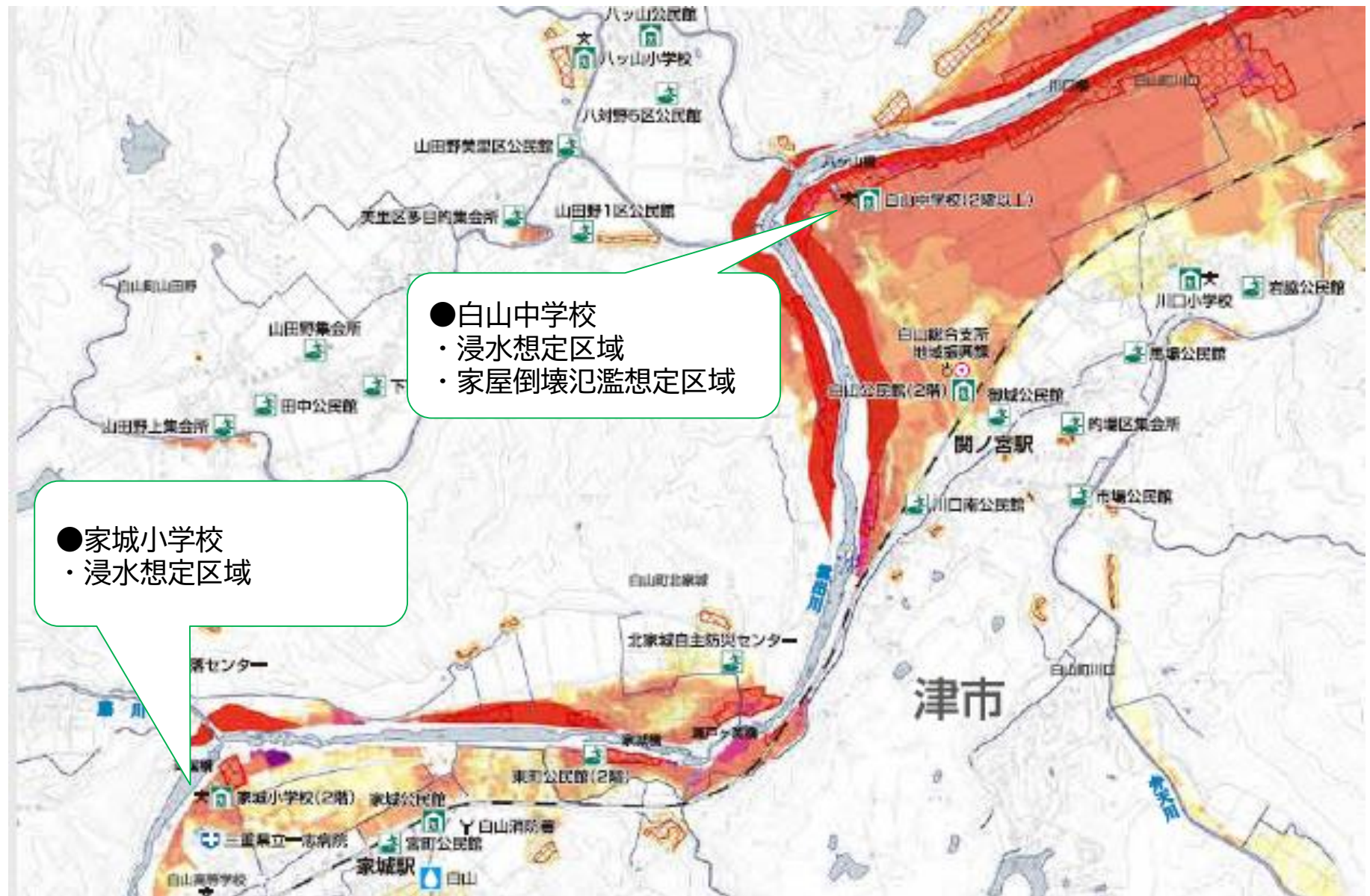
既存の学校用地（小学校5校、中学校1校）の活用

学校名	校舎建築年月 (経過年数)	運動場面積(㎡)	災害危険度	幹線道路の状況
家城小学校	昭和51年3月 (49年)	5,566	浸水想定区域	県道 幅員6m
川口小学校	昭和54年2月 (46年)	9,712	浸水想定区域	県道 幅員8m
大三小学校	昭和57年8月 (42年)	6,991		市道 幅員6m
倭小学校	平成2年3月 (35年)	9,616	急傾斜地崩壊危険箇所(一部) 土砂災害警戒区域(一部) 土砂災害特別警戒区域(一部)	市道 幅員5m
ハツ山小学校	昭和61年3月 (39年)	9,886	急傾斜地崩壊危険箇所 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 家屋倒壊等氾濫想定区域(一部)	市道 幅員6m
白山中学校	昭和37年3月 (63年)	23,809	浸水想定区域 家屋倒壊氾濫想定区域	県道 幅員6m

第一に安全性、次に利便性、容量（規模）を考慮し候補地を選定

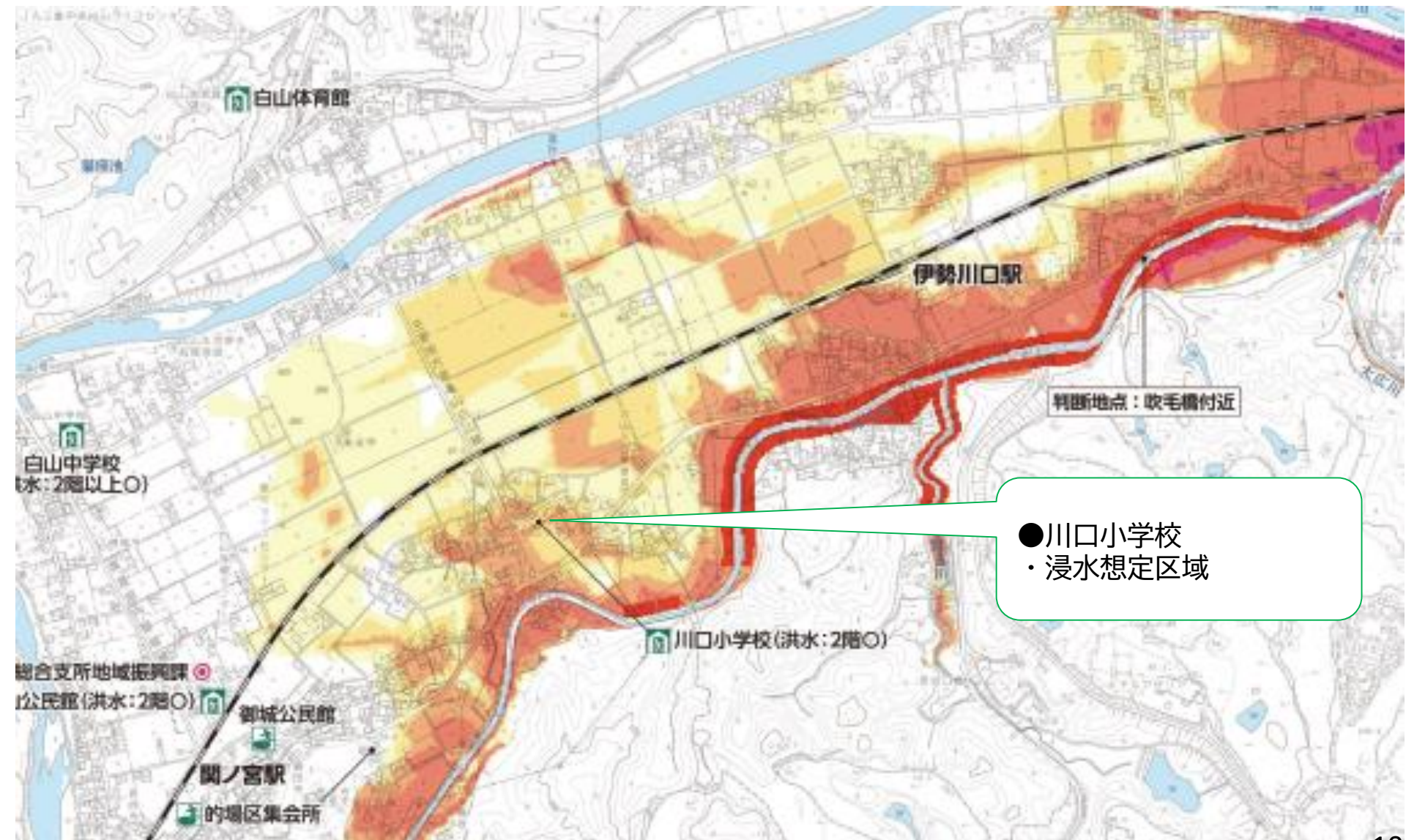
3-3 課題(候補地の選定(安全性①))

雲出川流域洪水ハザードマップ(家城小学校、白山中学校)



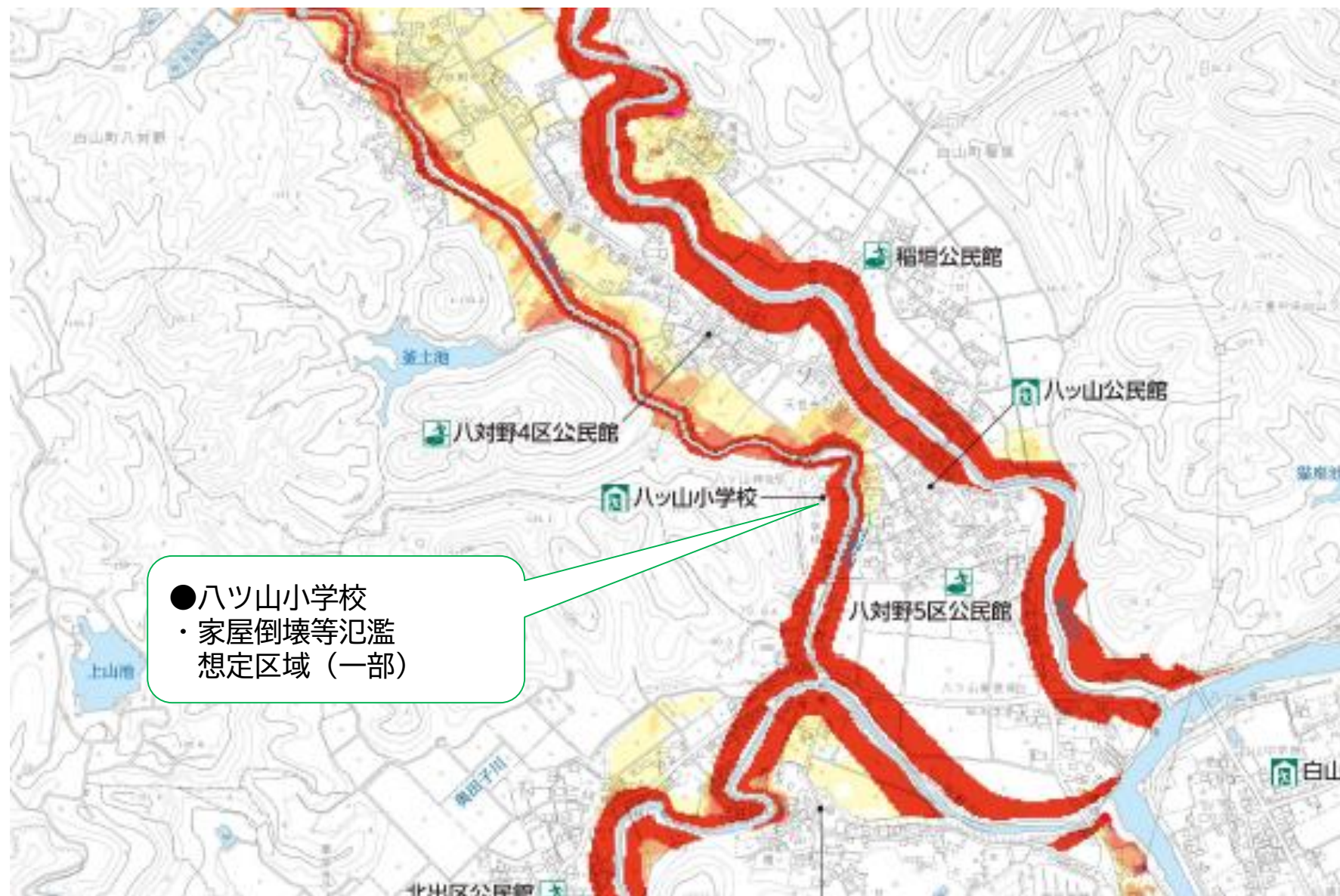
3-3 課題(候補地の選定(安全性②))

雲出川水系(弁天川)流域洪水ハザードマップ(川口小学校)



3-3 課題(候補地の選定(安全性③-1))

雲出川水系(八対野川)流域洪水ハザードマップ(ハツ山小学校)



3-3 課題(候補地の選定(安全性③-2))

土砂災害ハザードマップ (ハツ山小学校)

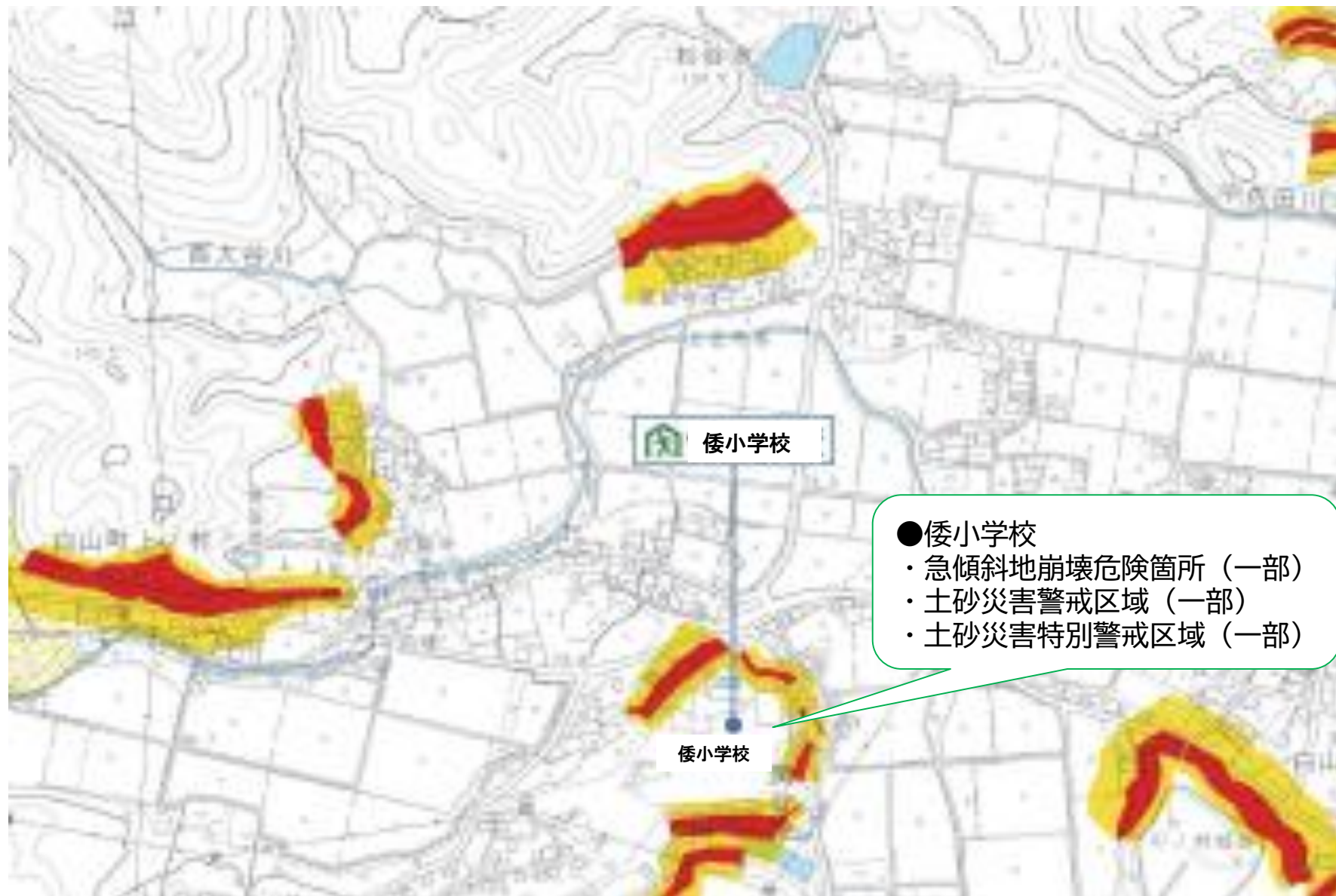


- ハツ山小学校
・土砂災害警戒区域
・土砂災害特別警戒区域



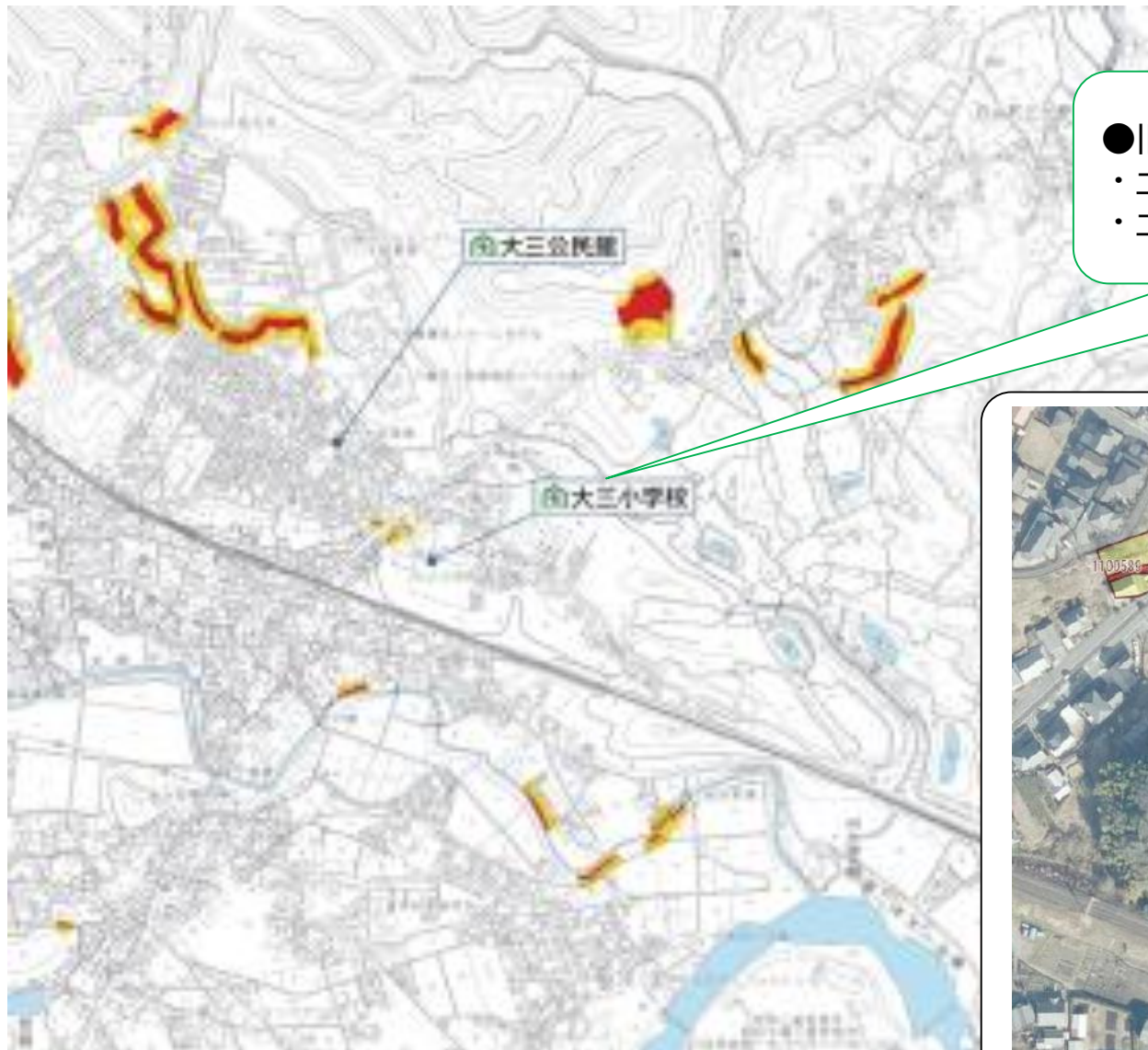
3-3 課題(候補地の選定(安全性④))

土砂災害ハザードマップ(倭小学校)



3-3 課題(候補地の選定(安全性⑤))

土砂災害ハザードマップ (大三小学校周辺)



- 旧大三幼稚園 (放課後児童クラブ)
- ・土砂災害警戒区域 (一部)
- ・土砂災害特別警戒区域 (一部)



出典：三重県土砂災害情報提供システム

3-4 課題(学校施設の老朽化対応①)

安全性の面から大三小学校を選定

整備手法の比較

施設の老朽化により施設整備が必要 (想定) 普通教室13教室 (うち1教室は余裕教室) 確保

整備手法	大規模改造	新築
工事内容	校舎:大規模改造 (内外装、ライフライン、バリアフリー等改修) プール:改修	校舎:新築(既存校舎解体) プール:改修
既存校舎の解体	不要	新校舎建設前に解体
仮設校舎の設置	・グラウンドへ設置(普通教室9教室、管理諸室等、2年) ・特別教室で行う音楽等の授業は普通教室で実施	・グラウンドへ設置(普通教室9教室、管理諸室等、4年) ・特別教室で行う音楽等の授業は普通教室で実施
工期	4年(最短で令和11年度開校)	6年(最短で令和13年度開校)
工事費(概算)	約11億8千万円 実質一般財源 約3億6千万円～約3億9千万円 ※補助・単独事業の区分により実質的な一般財源に差が生じます	約27億6千万円 実質一般財源 約15億3千万円～約25億4千万円 ※補助・単独事業の区分により実質的な一般財源に差が生じます
メリット	・新築と比較し短期間で整備が可能	・新たな教室の配置等の立案が可能 ・既存校舎と同様の配置で建築できるため日照等が同条件にすることが可能
デメリット	・仮設校舎での学習が必要(2年) ・工事中の騒音による授業への影響 ・グラウンドが仮設校舎、工事ヤード等となり使用が制限される ・学校敷地への出入り口が1箇所のため工事との動線を分けることができず安全管理に細心の注意が必要	・大規模改造と比較し工期が長期間となる ・仮設校舎での学習が必要(4年) ・工事中の騒音による授業への影響 ・グラウンドが仮設校舎、工事ヤード等となり使用が制限される ・学校敷地への出入り口が1箇所のため工事との動線を分けることができず安全管理に細心の注意が必要

※工事費(概算)は同規模の事例を参考に算出しました。なお、現時点において給食調理室の改修費は含めていません。 15

3-4 課題(学校施設の老朽化対応②)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
大規模改造	方針の検討・8月中旬に方針決定	・仮設校舎建設 (4か月)	・改修工事 (1年5か月) ・仮設校舎使用 (2年)	→ → ・備品等移動	開校 ・解体 (3か月)		
新築		・仮設校舎建設 (4か月)	・解体工事 (10か月) ・仮設校舎使用 (4年)	→ → →	・新築工事 (1年8か月)	・グラウンド整備工事 (3か月) ・備品等移動	開校

3-5 課題(通学手段・方法)

1 通学手段・方法 (案)

- ・ 大三小学校の児童は徒歩通学
- ・ 家城・川口・ハツ山・倭小学校区の児童はスクールバスで通学

2 コース (案)

コース名	対象人数	使用車両	通学時間	通学距離
南家城コース	26人	中型バス	16分～15分	9.8km～9.3km
山田野・北家城コース	14人	マイクロバス	21分～14分	12.8km～8.3km
川口コース	35人	中型バス	17分～10分	10.3km～6.2km
双川・算所コース	7人	ワゴン	11分～9分	5.4km～4.8km
グリーンタウンコース	19人	マイクロバス	9分～7分	4.2km～4km
南出・八対野コース	19人	マイクロバス	19分～8分	11.6km～4.5km
佐田コース	12人	マイクロバス	15分～8分	8.2km～4.7km

※通学方法については、ルート設定・バス停の箇所など検討していきます

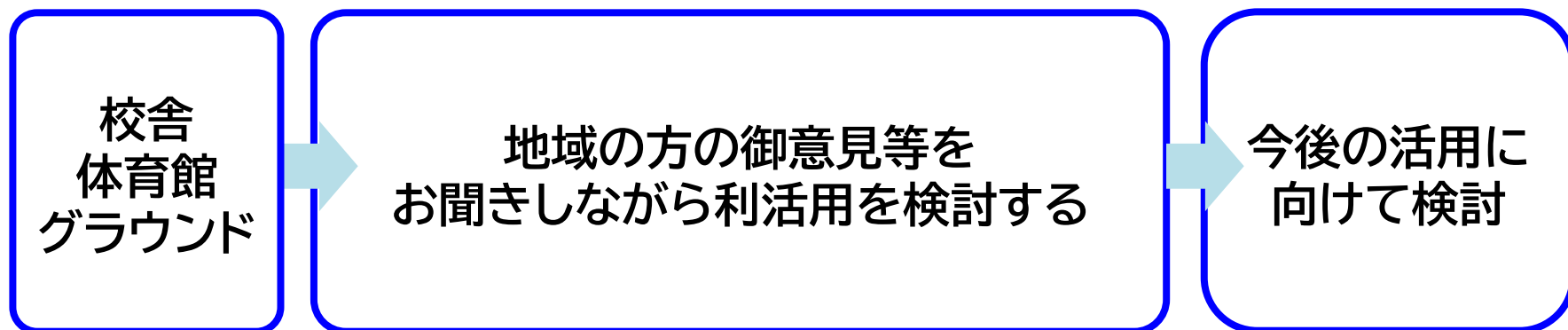
3-6 課題(放課後児童クラブ・学校跡地の利活用)

◆ 放課後児童クラブ

民営のため、クラブの統合については4クラブで方針決定

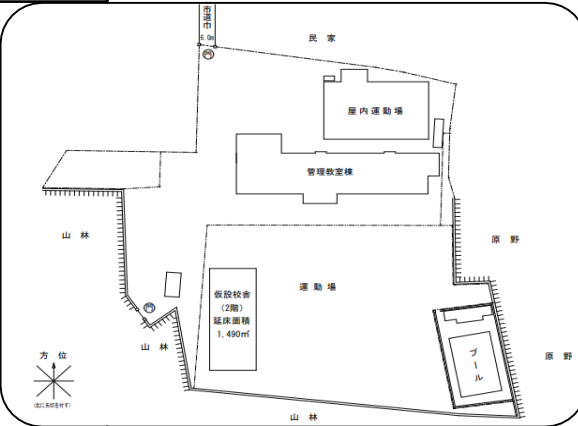
スケジュール(案)	内容
令和7年度中を目途	4クラブで方針決定⇒候補地案等の方針決定
令和8年度	施設整備に係る予算協議・調製
令和9年度	施設整備に係る設計
令和10年度	施設整備に係る工事
令和11年度	供用開始

◆ 学校跡地の利活用



4 白山地域小学校の統合後の場所及び整備方法(案)

◆最短で令和11年度開校をめざす

統合後の 場所	大三 小学校	選定理由 ◆安全性 ・災害時等における安全性を最優先に選定 (ハザードマップ等で最も災害時の影響が少ないと想定される) ◆利便性 ・主要幹線道路(国道165号線)沿いにある ・近鉄大三駅に近い ・最寄りの公共施設 白山総合文化センター、うぐいす図書館 ◆容量(規模) ・現施設で教室数が充足	 現在の大三小学校校舎
整備方法	大規模 改造	選定理由 ◆開校時期 ・新築と比較して、早期に統合が可能 ◆費用負担 ・新築と比較して、費用負担が少ない ◆安全性 ・大規模改造の場合も安全性や耐震性に問題なし	 既存校舎を活用した大規模改造